

2022 人文社会科学部後援会支援事業報告書

申請者：添田 仁

事業区分：学生の教育研究活動支援

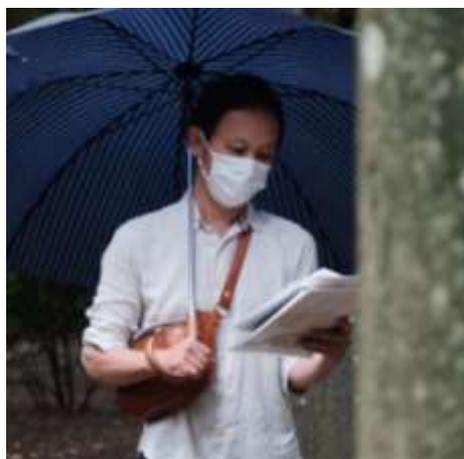
テーマ：ゼミ合宿「小津久足の旅をたどる－鹿島神宮から筑波山へ－」

期間：2022年9月20日（火）～21日（水）

概要：天保11年（1840）に、松坂商人の小津久足が紀行文『陸奥日記』に記した常陸への旅をたどり、久足が観た風景の特徴と、その現状を調査するフィールドワークである。今回は、大船津から鹿島神宮への参道と境内、さらに筑波山の巡検を行った。

・9月20日（火）

台風による悪天候のため開始時間を遅らせ、13時に土浦駅集合し、レンタカーで大船津まで移動した。久足と同じように根本寺・神宮寺跡と参道を進み、神宮境内では要石・御手洗池などを散策した。その後、物忌館跡と跡宮をめぐり、亀の井ホテル潮来に泊まった。



・9月21日（水）

『陸奥日記』の記述に沿って、真鍋（土浦市）から筑波街道を西行して筑波山へ。筑波山一の鳥居から筑波山神社までの間は、幕末の廃仏毀釈の影響が色濃く残り、久足が観た風景とはかなり異なっていることが確認できる。その後、ケーブルカーで筑波山に登り、女体山から奇岩を見ながら下山した。久足が歩いた後に失われたものも多いことが確認できた。

学生一同、後援会の皆様のご支援に深く感謝いたします。

